

令和3年度 事業報告書

令和3年4月 1日から

令和4年3月31日まで

学校法人 今村学園

1. 法人の概要

名 称 学校法人 今村学園（昭和26年9月19日法人設立）

代表者 理事長 瀧本 一慶

住 所 高槻市高槻町3番16号

電 話 072-685-0247

F A X 072-683-3685

<https://www.imamura-gakuen.ed.jp/>

設置する施設名

① 名 称 幼保連携型認定こども園 いまむらこどもえん

住 所 高槻市高槻町3番16号

電 話 072-685-0247

F A X 072-683-3685

② 名 称 小規模保育園 necco

住 所 高槻市北園町2番22号

電 話 072-668-2751

F A X 072-668-2752

役 員

理 事 5名

監 事 2名

評議員 11名

理事会 4回開催

評議員会 4回開催

職 員 76名（内常勤40名）

2. 事業概要

（ いまむらこどもえん・小規模保育園 necco ）

《保育・教育方針》

生きること、学ぶことの 根っこを育てる

《保育・教育内容》

- ・自然に触れていろいろなことを感じる心身を育てる
- ・本当のことを知ろうとする意欲を育てる
- ・素直に表現し、創造する喜びを育む
- ・友だちを大切に思う心を育てる

《園児数》

いまむらこどもえん定員 1号児 75名 2.3号児 120名

	R3年度	クラス数
0才	9	1
1才	18	1
2才	22	1
3才	58	異年齢 クラス 6
4才	56	
5才	51	
合計	214	9

necco 定員 0歳児 3名 1歳児 8名 2歳児 8名

	R2年度	クラス数
0才	3	1
1才	8	1
2才	8	1
合計	19	3

《保育時間》

1号認定こども 月～金曜日 午前 8:30 (9:00 のクラスもあり)
～午後 3 : 30 (4:00 のクラスもあり)

保育時間後 2 時間は幼稚園型預かり保育利用により降園は午後 4 時
(水曜日は～11 : 30)

2・3号認定こども 月～土曜日 午前 7 : 00～午後 7 : 00

《公定価格》

利用者負担金 1・2号認定こども 保育料無償
3号認定こども 高槻市で定められた額

《特定負担金》

1号認定子ども 3歳児 月額 13,000円 4・5歳児 月額 15,000円
2号認定子ども 3歳児 月額 14,000円 4・5歳児 月額 16,000円

《実費徴収》

1号 副食費 4,500円/月・主食費 2,000円・おやつ 900円/月=合計 7,400円/月
幼稚園型預かり保育利用料 6,700円/月
2号 副食費 5,600円/月・主食費 2,500円/月・おやつ 1,600円=合計 9,700円/月

《その他の費用》

進級・入園受入準備費（幼児） 50,000 円他 用品・被服費

1号入園面接時検定料 7,000 円（連携施設 5,000 円）

《一時預り保育料金》

● 1号認定こども（利用については回数の制限あり、新2号については制限なし）

月・火・木・金

午前の部 午前7時～8時 5 円/分

午後の部 午後4時以降 5 円/分 午後6時以降 10 円/分

水曜日など半日保育日

午前 11:15 (11:45) ～午後6時 5 円/分

午後6時以降 10 円/分

長期休暇の預かり保育もあり

《延長保育料金》

● 2号認定こどもは1号認定こどもに同じ

● 3号認定こども

午前7時～8時 7 円/分 午後4時～6時 7 円/分

午後6時～7時 10 円/分

《行事実施状況》

入園式、園外保育、畠活動、園庭の田おこし、田植え、収穫、七夕の集い、うんどうの日クリスマス、餅つき、味噌作り、耐寒登山、節分、歌とリズムと朗読の会、卒園式、誕生会、避難訓練等

《施設関係》

園舎面積 1, 837. 63 m²

園庭面積 731. 53 m²

《設備関係及び事業内容》

令和3年度は引き続き新型コロナ感染症対策を強化した。いまむらこどもえんは8月末、令和4年1月に臨時休園となったが、早期に再開園となった。いまむらこどもえん・neccoとも罹患の子どもはあったが、重症化することなく安堵した。

地域の乳児保育のニーズに応え、子育て支援に寄与するためnecco たかつき新規開園に向け6月より準備、9月承認を受け内装工事に入り令和4年4月開園を目指した。

＜いまむらこどもえん＞

4月より幼児異年齢保育を実施した。1年を通し、様々な活動を通し、年齢を問わずお互いがお互いを支え合う家族のような温かい関係が生まれ、繋がりが強まった。

高槻の里山、原地区において米・さつまいもを、園の畠において大豆を2クラスずつで責任をもって栽培する中でお互いに影響を受け、各自が、自分のできること・やりたいことを自分で選択し活動の過程を楽しみながら秋には収穫することが出来た。自分たちだけではなく皆で分け合うという経験もでき、畠やたんぼでの活動はコロナ禍においても子どもたちの身体と心に好ましい取り組みであったと考える。

このように各クラスの子どもの興味に沿って自然に触れる活動を中心に、平和・環境保全・多様性と共生をテーマに様々な活動を展開した。

園バスにより、原と園を結び、アクセスが良くなり、子どもたちの自然の中での活動も更に充実した。うんどうの日、歌・リズム・ろうどくの会、卒園式などの行事は、時期を問わず、参観人数を減らすなどの対策をし、実施した。

乳児は育児担当制により、個々の育ちをじっくり見ながら必要な援助をし、穏やかに毎日を過ごした。

子育て支援については、未就園児クラス・園庭開放とも感染拡大防止の観点から、実施を見送った。食育講座については対面の講座は実施できなかったが詳しいレシピを配布し、動画を QR コードで読み取れるようにするなど工夫した。

一般を対象に一時預かり保育を実施し、登降園時等に子育て相談等にも対応した。

<小規模保育園 necco >

開設 2 年目となり、本園同様、個々の育ちを丁寧に観ながらゆったりと過ごした。

8 名の 2 歳児は 7 名が連携施設であるいまむらこどもえんへの入園を希望され、令和 4 年度 2 号認定こども 3 歳児として入園を決定された。

毎日の保育では、感染予防対策上、難しい時期もあったが、いまむらこどもえん園庭において、子ども同士の交流を深め、スムーズな移行ができるよう配慮した。

※延長保育料金等必要経費についてはいまむらこどもえん 3 号認定こどもと同じ。

※ECEQ®型公開保育について

7 月より 3 名のコーディネーターの方にお世話になり、園の今現在を見つめ、進みたい方向を明らかにする過程でさまざまなアドバイスを頂いた。10 月の公開保育では 30 名の外部の保育者の方々においでいただきたくさんの示唆をいただいた。STEP1~5 の全過程を通し職員各自が思いを語り、子どもたちと共に保育を創り上げてゆく大切さを学んだ。

コロナ禍において、様々な保育・教育について、保護者の方々のご支援やご理解のもと、子どもにとってどうなのかを基準としてより良い方法を考え対応していった。

幼児は異年齢ホームクラスへと変化して 1 年目、戸惑いもあったが、遊びや仕事を通し様々な人間関係を経験し、年齢関係なく、育ち合いの中でお互いを大切に思う気持ちが育まれていったと考える。今後は、園生活のための様々な仕事を自分たちで考え、過ごすことが出来るよう子どもと共に考えたい。

原地区という広々とした自然の環境は変わらず子どもたちにたくさんの恩恵を与えてくれている。自然と共に生きる保育を今後も目指してゆきたい。